

オプトアウト

【研究課題】 急性期病院におけるがん患者に対する作業療法での COPM の実施が
自己効力感に影響するか

【研究計画の概要】

○目的

がん患者に対し、カナダ作業遂行測定(COPM)を用い、その結果に基づいた作業療法を実施し、自己効力感尺度を評価する。COPM 実施群と非実施群を比較し、自己効力感の変化に差があるか明らかにする。

○研究期間

2021 年 12 月 31 日まで

○対象となる方

がんの診断で呼吸器内科病棟入院中、作業療法を行った症例のうち、明らかな認知症がなく意思疎通可能な症例

○研究に利用する試料、情報

情報：(例) 年齢、性別、癌の部位、改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)、握力、バーサルインデックス、パフォーマンスステータス、進行がん患者のための自己効力感尺度、介入日数等

○その他

患者様の情報の取り扱いに関しまして、匿名化して扱いますので、お名前など個人が特定される情報が外部に出ることはありません。さらに、研究成果を学会や論文等で発表させていただく場合は個人情報公表することは一切ありません。

【問い合わせ先】

茨城西南医療センター病院 リハビリテーション部 作業療法士 川口 実華
電話：0280-87-8111